

Floor Map



研究経過	
令和6年度	
4月19日	研究推進校説明会 令和6・7年度大田区教育委員会研究推進校委嘱状受理
4月27日	NITS 独立行政法人教職員機構開催セミナー 校内から5名参加 単元内自由進度学習から考える「子どもを主語にした個別最適な学び」 講師 上智大学教授 奈須 正裕先生、東京学芸大学講師 佐野 亮子先生他
5月22日	研究授業事前検討会(オンライン)講師 佐野 亮子先生(東京学芸大学以下同)
5月30日	目黒区立中目黒小学校校内研究会 校内から1名参加
6月26日	第5学年校内研究授業(算数科) 一教科一単元内自由進度学習の提案 講師 東京都教職員研修センター 指導主事 武田 貴裕 校外参加者3名
7月9日	第3学年校内研究授業(算数科) 一教科一単元内自由進度学習の提案 講師 奈須 正裕先生 校外参加者5名
7月13日	都小教育講演会「こどもを中心としたカリキュラム・マネジメント」 講師 奈須 正裕先生 校内から8名参加
7月19日	研究授業事前検討会(オンライン) 講師 佐野 亮子先生
8月22日	研究授業事前検討会(オンライン) 講師 佐野 亮子先生 ★複合施設新校舎への移転
9月25日	第2学年校内研究授業(国語科・算数科) 二教科二単元自由進度学習の可能性の提案 校外参加者3名 講師 東京都教職員研修センター 指導主事 武田 貴裕 大田区教育委員会 指導主事 桑原 宏一
9月26日	事前提案協議会 パフォーマンス課題の提案
9月30日	第4学年校内研究授業(算数科) 一教科一単元内自由進度学習の提案 講師 佐野 亮子先生 校外参加者3名 大田区教育委員会 指導主事 桑原 宏一
10月14日	愛知県東浦町立緒川小学校 授業視察 校内から2名参加
10月16日	新校舎施設を生かし、単元内自由進度学習を効果的に進めるための環境整備
11月19日	指導課主催 研究推進校中間報告会 報告者 研究主任
11月29日	三鷹市立第三小学校 研究発表会 校内から1名参加
12月10日	第1学年(国語科・算数科)・特別支援学級校内研究授業(国語科・生活科) 二教科二単元自由進度学習の可能性の提案 校外参加者3名 講師 奈須 正裕 先生
12月20日	研究授業事前検討会(オンライン) 講師 佐野 亮子先生
1月6日	研究授業事前検討会(オンライン) 講師 佐野 亮子先生
1月16日	研究授業事前検討会(オンライン) 講師 佐野 亮子先生
1月22日	第6学年校内研究授業(体育科・外国語科) 二教科二単元自由進度学習の可能性の提案 校外参加者2名 講師 東京都教職員研修センター指導主事 武田 貴裕
2月19日	第5学年自主研究授業(理科・社会科) 二教科二単元の可能性の検討
2月26日	三鷹市立第三小学校校内研究会 校内から1名参加
3月12日	校内研究まとめ 大田区教育委員会 指導主事 桑原 宏一

令和7年度	
4月1日	東京都教育委員会 デジタルを活用したこれからの学び推進地区実践校指定
4月14日	校内研究会全体会① 一年次までの研究内容の確認及び二次元の方針
4月17日	研究授業・単元内自由進度カリキュラム開発事前研究会(オンライン) 講師 佐野 亮子先生
4月18日	指導課研究推進校説明会 一年次研究内容進捗報告 報告者 校長・研究主任
5月7日	研究推進委員会① 研究授業カリキュラム検討(2・3・5・6年)
5月10日	研究推進委員長相談会 講師 佐野 亮子先生(オンライン)
5月13日	研究推進委員会② 研究授業カリキュラム検討(1・2・3・4年)
5月14日	第5学年単元内自由進度学習開始(算数科・社会科) 6月2日まで
5月21日	第6学年単元内自由進度学習開始(理科・音楽科) 6月5日まで
5月24日	第5・6学年研究公開授業 講師 佐野 亮子先生 校外参加者4名 研究授業カリキュラム指導・助言(1・2・3・4年)
6月9日	第2学年単元内自由進度学習開始(国語科・算数科) 6月26日まで
6月12日	第3学年単元内自由進度学習開始(国語科・理科) 6月27日まで
6月12日	第2・3学年研究公開授業 講師 佐野 亮子先生 校外参加者5名 研究授業カリキュラム指導・助言(1・4年)
6月20日	第4学年単元内自由進度学習開始(国語科・理科) 7月8日まで
6月25日	第1学年単元内自由進度学習開始(国語科二単元) 7月8日まで
6月30日	第1・4学年研究公開授業 講師 佐野 亮子先生 校外参加者3名
7月上旬	研究発表会開催の告知・文書配布・データ配信
7月22日	夏季校内研究会①二期単元内自由進度学習の計画・検討
7月25日	夏季校内研究会②環境構成の在り方及びカリキュラム開発にかかわる協議 指導・助言 佐野 亮子先生
7月29日	夏季校内研究会③一学期の取組による児童の実態把握の共有等
8月25日	2学期授業公開カリキュラム指導・助言(全学年) 佐野 亮子先生
9月	2学期授業公開 教材開発 指導・助言 佐野 亮子先生(3回)
10月	2学期授業公開 学習環境づくり 指導・助言 佐野 亮子先生(3回)
11月	研究発表会 学習環境ツアー校内リハーサル
11月13・14日	研究発表会に向けた授業公開ウィーク(2日間)
11月18日	研究発表会

資料

研究概要、指導事例、当日指導案は、二次元コードから読み取ってください。

研究概要
パンフレット

(印刷) 令和7年11月
(編集・発行) 大田区立入新井第一小学校
(電話) 03-3762-6428

(所在地) 東京都大田区大森北 4-6-7
(印刷・デザイン) 桜印刷

- ・令和7・8年度 東京都教育委員会「デジタルを活用したこれからの学び」推進地区実践校
- ・令和6・7年度 大田区教育委員会教育研究推進校
- ・大田区教育委員会 理科教育推進拠点校



大田区立入新井第一小学校 研究発表会

タイムテーブル									
13:00	13:15	14:15	14:30	15:00	15:15	15:25	16:25	16:30	
受付	公開授業 観る	移動	学習環境ツアー 知る	移動	挨拶	講師講演 深める	謝辞		
	※1			※2					

※1 1・2年生授業は 14：00 終了 ※2「スマイル大森 地下多目的のホール」へご移動ください。

教育長挨拶

大田区教育委員会教育長 小黒 仁史

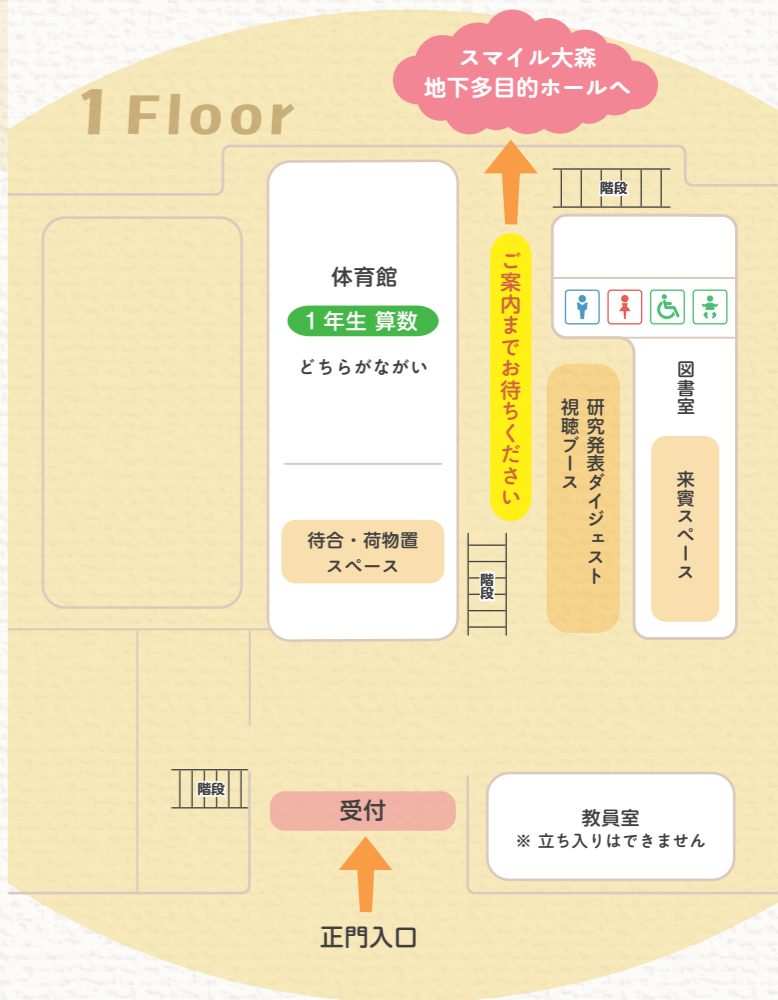
おおた教育ビジョン基本方針2では「誰一人取り残さず、こどもの可能性を最大限に引き出す」ことを掲げ学校力・教師力の向上を目指しています。本校はこのことを踏まえ、令和6・7年度大田区教育委員会教育研究推進校として、自由進度学習の可能性を探ることを通して「こどもを中心としたカリキュラム・マネジメント」に関する実践的な研究を重ねてこられました。こども一人一人の興味・関心や能力と可能性を改めて重視し、こどもを中心としたカリキュラム・マネジメントの在り方を率先して研究し、この度、研究の成果を発表していただくことに心より感謝申し上げます。

本校の研究に際し、御指導・御助言を賜りました講師の皆様に厚く御礼申し上げます。また、入新井第一小学校 執行 純子 校長先生をはじめ教職員の皆様、保護者、地域、関係者の皆様に深く御礼申し上げ、挨拶いたします。

校長挨拶

大田区立入新井第一小学校長 執行 純子

本校は令和7・8年度東京都教育委員会「デジタルを活用したこれからの学び」推進地区実践校並びに令和6・7年度大田区教育委員会教育研究推進校として、個別最適な学びを充実させる手段のひとつである自由進度学習の可能性を探ることをテーマにした研究を二年間進めてまいりました。令和5年より施行されている「こども基本法」では、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指しており、学校教育においてもいかにこどもを主語にした学びを充実させていくことができるかは喫緊の課題です。本校ではすべてのこどもたちが主体者となり、「疑問」「驚き」などをもって自ら課題解決に動く姿を求めて実践的研究を積み重ねてきました。これまで御指導・御助言を賜りました上智大学教授 奈須正裕先生、東京学芸大学 佐野亮子先生、東京都教育委員会、大田区教育委員会の皆様に厚く御礼申し上げ、挨拶いたします。



学習環境



自由進度学習とは

自由進度学習とは、「学習計画表」に基づいて自分のペースで教科内容を学び進める方法。

(文部科学省「『自立した学び手』の育成を目指した自由進度学習の取組」より)

特に単元の中で行われる自由進度学習は、「単元内自由進度学習」と呼ばれる。

本校では、単元内自由進度学習を「マイプラン・タイム」と呼ぶ。

こどもを中心としたカリキュラム・マネジメント

～自由進度学習の可能性を探る～

目指す
児童像

自分に最適な学びを計画・実行できる児童

そのために指導法の一つとして

「自由進度学習の可能性を探ろう」

Q1 自由進度学習は、教育課程でどのように位置付けていますか。

本校では、年間指導計画の中に自由進度学習を位置付け、子どもたちの自立した学びを促すための機会としています。具体的には、年間で各学期に二教科二単元程度、この学習方法を取り入れています。年間を通じて実施することで、子どもたち自身が自分の学習スタイルやペースを把握し、学び方を振り返り、修正していく機会となっています。

一回の自由進度学習は、複数教科（または複数単元）を組み合わせ、約15時間程度の学習内容で構成しています。これをおよそ3週間程度の期間を掛けて子どもたちは学習を進めます。

Q2 こどもたちが自由進度学習を進める中で、教師は授業中にどのような指導・支援をしているのですか。

自由進度学習では、教師は一齐に教えることをしません。こどもの学びを支え、導くファシリテーター（伴走者）の役割が主となっています。教師は、一人一人の学びのプロセスをじっくりと把握し、児童理解を深め、学びの意欲を高める時間にすることを目指しています。

私たちの振り返りの中でもよく話題に挙がるのは、「つまづいている子」への対応です。ついにすぐに答えを教えたり手助けをしたりしたくなるのですが、「学び方のアドバイス」や「アシスト」を大切にしています。こども自身が「もう少し粘ってみよう」「どうしたら解決できるだろう」と試行錯誤をする時間を奪わないことが、自立を促す上で大切であると考えています。

従来の入一小的こども

- 受け身、指示待ち
- 下位層：ついていけない
- 上位層：時間を持て余す

学習意欲の低下

現状の効果

- その1 学習意欲の向上
- その2 校内別室登校利用者の減少（R6.5名→R7.1名）

手だて② 学習過程の工夫

- その1 自分で選べる。二教科（二単元）の学習過程
- その2 学習マップの提示
- その3 こどもの関心に沿ったパワーアップミッション（探究的な課題）
- その4 振り返りの習慣化

自分で選べるから
やる気 UP

自己調整力 UP

手だて① 学習環境の充実

- その1 「! ? !?」を生む学習環境（雰囲気、動機付け）
- その2 一人で学ぶためのヒント（思考を深め、促す）
- その3 教師はファシリテーター（伴走者）

見て、触って、
聴いて、嗅いで、
考える 掲示

マイプラン・タイム

一斉指導のみ

多様な指導法

Q3 自由進度学習の中で、こども同士の協働的な学びや対話はどのように生まれていますか。

自由進度学習は、多様な学習方法の一つで、全教科・全単元を自由進度学習で行うことはしていません。本校では、自由進度学習について個別の学習形態の一つとして位置付けているため、協働的な学びとは切り離して考えています。しかし、自由進度学習での学びの様子を見ていると、様々な場面で自然に関わりをもちながら必然性のある協働的な学びが生まれている姿が見られます。

Q4 自由進度学習で取り組む教材・単元はどのように選定していますか。

本校のこどもの実態と育てたい児童像を踏まえて、この学習方法が効果を発揮する単元を選んでいきます。具体的には以下の2点を意識して選定しています。

- ① 学習の進度に個人差が出やすい単元
- ② 一人一人が実際に教具やツールに触れて試行錯誤してほしい学習内容

また、教科や単元の組み合わせは、あえて学習内容を無理に関連付けて組み合わせるということはありません。その理由は、全く異なる教科や領域の学習を並行して進めるようにしたことで、こども自身が学習する教科を変更して、集中力を回復させたり、順序選択ができたりして、学習意欲を維持できていることを実感したからです。

Q5 自由進度学習において、評価はどのように行っていますか。

まず、教材研究、教材開発の段階でそれぞれの単元の評価基準表と評価方法をしっかりと定めます。評価基準表を明確にし、こどもたちにも学習が始まる前のオリエンテーションで示すことで、「何をどのように頑張ればよいか」を具体的に理解させることができます。

授業の中では、教師の形成的な評価とフィードバックを大切にしています。「先生チェック」や「確認テスト」は、あくまで「今の理解度を確認し、次の学習へつなげるためのもの」と考えています。「先生チェック」では、誤答の原因をこどもとともに考え、解決策を見付ける過程を重視しています。